


Method of and apparatus for automatically outputting the image of a page.

Patent Number: ☐ EP0603714, B1
Publication date: 1994-06-29
Inventor(s): MATSUHISA TAKESHI C O DAINIPPO (JP)
Applicant(s): DAINIPPON SCREEN MFG (JP)
Requested Patent: ☐ JP6180495
Application Number: EP19930120158 19931214
Priority Number(s): JP19920354122 19921214
IPC Classification: G06F3/12
EC Classification: G06F3/12J
Equivalents: DE69320450D, DE69320450T, JP2803062B2, ☐ US5451111
Cited Documents: US5025398; EP0479494

Abstract

A storage media (magneto-optical disc, for example) stores material data of a page, layout data of the page and an output control file having a preset name. The output control file contains designating data describing the location of the material data and the location of the layout data in the storage media. When the storage media is detected being set in the media drive, the output control file with the preset name is searched. When the output control file is found, the designating data is read out, and the material data and the layout data are retrieved from the storage media using the designating data. Based on the material data and the layout data, the image of the page is outputted onto a sheet. 

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(51)IntCl ⁴	版別記号	行内変換番号	FI	技術表示箇所
G 03 F 1/00	L	7369-2H		
G 06 F 15/02	330 G	8125-5L		

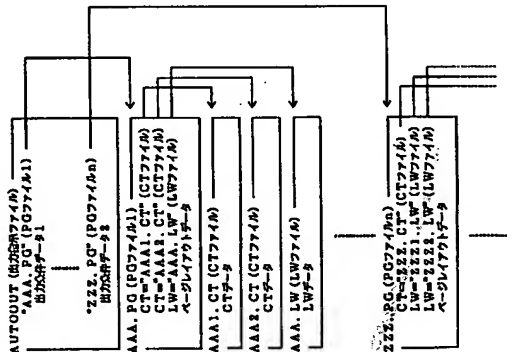
審査請求 未請求 請求項の数1(全10頁)

(21)出願番号	特開平4-354122	(71)出願人	000207551 大日本スクリーン製造株式会社 京都府京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目 目次神北町1番地の1
(22)出願日	平成4年(1992)12月14日	(72)発明者	松久 剛 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目目次神北町1番地の1 大日本スクリーン製造株式会社内
		(74)代理人	弁理士 小林 良平

(54)【発明の名称】 画像出力装置

(57)【要約】
【目的】 記録済みのレイアウトのデータとその材料のデータとが所定の形式で記録された記録メディアをメディアドライブに挿入するだけで自動的にページ画像の出力を行なうことができるようにする。

【構成】 予め記録メディアに、ページ画像の製版に必要な材料データ及びレイアウトデータを記録しておき、更に、それらのデータの存在位置を表わす参照データ(ファイル名等)を記録した出力指示ファイルを所定の名称(AUTOOUT)で記録メディアに記録しておく。そして、記録メディアがメディアドライブにセットされたとき、その記録メディアに前記所定の名称(AUTOOUT)を有する出力指示ファイルが存在するか否かを検出する。出力指示ファイルが存在する場合には、出力指示ファイルの内容を読み出し、出力指示ファイルに記録された参照データに基づいて材料データ及びレイアウトデータを検出し、レコーダにより画像出力を行なう。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ページ画像の製版に必要な材料データ及びレイアウトデータ、並びに、それらデータの記録位置を特定する参照データを収めた出力指示ファイルが所定の名称で予め記録された記録メディアに基づき自動的にページ画像の出力を行なう画像出力装置であって、
a) 記録メディアからデータを読み出すメディアドライブと、
b) ページ画像の出力を行なうレコーダと、
c) メディアドライブに記録メディアがセットされたことを検出するメディアセット検出手段と、
d) 記録メディアがメディアドライブにセットされたとき、その記録メディアに前記所定の名称を有する出力指示ファイルが存在するか否かを検出するファイル検出手段と、
e) 出力指示ファイルが存在する場合、出力指示ファイルの内容を読み出し、参照データに基づいて材料データ及びレイアウトデータを読み出してページ画像を出力するためのデータ編集手段と、
f) データ編集手段の出力によりレコーダを制御してページ画像を出力するための出力制御手段とを備えることを特徴とする画像出力装置。

【発明の詳細な説明】

【産業上の利用分野】 本発明は、画像出力装置に関する。

【0001】

【従来の技術】 ページ画像のレイアウト配達が終了し、

文字・図画・写真等のデータ(これらのデータを材料データと呼ぶ)を収めたファイル(材料ファイル)と、それらのレイアウトを記述したデータを収めたファイル(レイアウトデータファイル) [PG (Page Geometry) ファイルと略記する] とが1枚の記録メディア(ここでは例えば光磁気ディスクとす)に記録された状態から目的とする複製用フィルムが出力されるまでの従来の工程を図7により説明する。なおここで、材料データは、文字・図画等をベクトルデータの形式で記述した線画データ [LW (Line Work) データと略記する] と、写真等を画素データの形式で記述した陰影データ [CT (Continuous Tone) データと略記する] とに分けて光磁気ディスク (MOD) に記録されている。また、レイアウトファイルの中に、材料ファイルのLWデータとは別に、複製時の特定LWデータが含まれる場合がある。

【0003】 このような状態から画像出力を行なうためには、図7に示すように、光磁気ディスクドライブ (MTS-O) 54、レイアウトステーション (M

S) 55、グラフィックスステーション (GS) 53、出力ステーション (IOS) 56、レコーダ (REC) 5

1、複製ステーション (PRS) 57、ディスクコントローラ (DUC) 58及びディスクユニット (DU) 5

9から成る出力システムが必要であった。一応の組織が終了し、材料ファイルであるLWファイル (LWデータのみを収めたファイル) 及びCTファイル (CTデータのみを収めたファイル)、並びに、レイアウトデータを収めたPGファイルが記録されたMOD 52を受

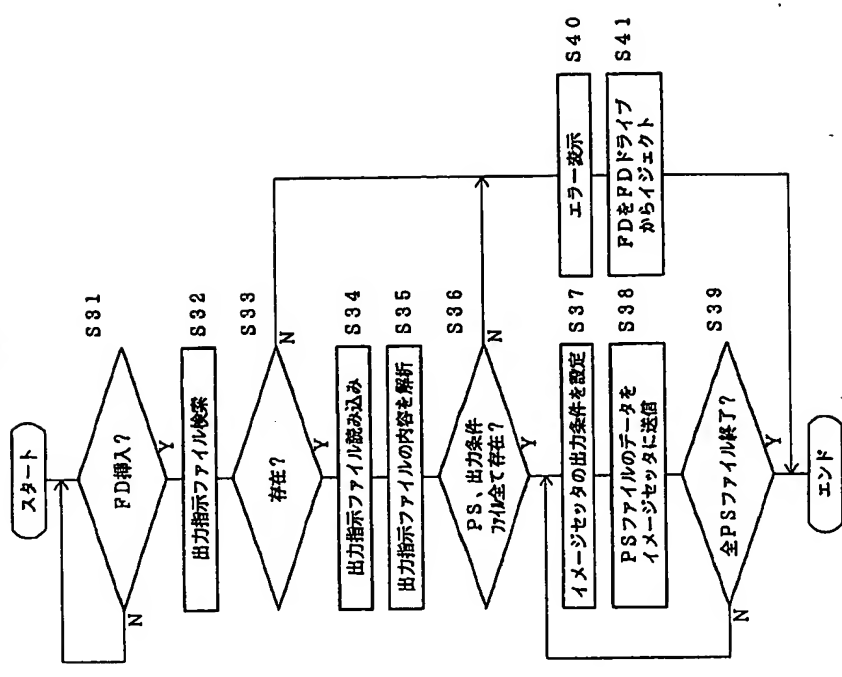
け取った操作者は、まず、光磁気ディスクドライブ54にMOD 52を挿入する。そして、光磁気ディスクドライブ54のターミナルを操作することにより、これらのファイル (LWファイル、CTファイル、PGファイル) をMOD 52から読み出し、ディスクコントローラ58を介していずれかのディスクユニット59に一旦格納する。なお、MOD 52から必要なファイル全てを読み出した後は、MOD 52は光磁気ディスクドライブ54から抜き出して廃棄しない。

【0004】 次に、レイアウトステーション55のターミナル、又は出力ステーション56から、ディスクユニット59に格納された上記ファイル中のLWファイルとPGファイルをグラフィックスステーション53に伝送するように指示する。そして、操作者がグラフィックスステーション53に移り、そのターミナル上で操作することにより、PGファイルからJOBファイル、MSKファイル、及び、PGファイル中に特定LWデータが含まれている場合には特定LWファイル、を生成する。なお、材料データとしてMOD 52に当初から存在するLWファイルと区別するため、PGファイルから生成された特定LWファイルを、以下、LW2ファイルと略す。JOBファイルは陰影データを出力するまでの一連のデータ処理を指示するファイルであり、後述の出力ステーション56における出力処理時に参照されるものである。M

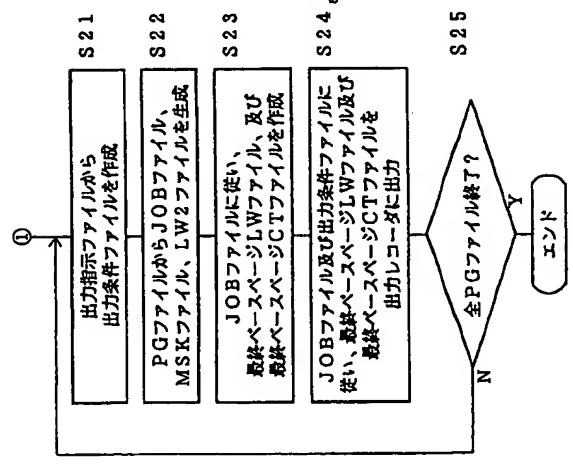
SKファイルは作成される版の中において陰影の出力領域を指定するマスク図形のデータを収めたファイルである。PGファイルから生成されたこれらのファイル (JOBファイル、MSKファイル、LW2ファイル) もディスクコントローラ58を經由してディスクユニット59に格納される。

【0005】 次に操作者は複製ステーション57に移り、そのターミナルからディスクコントローラ58に対して、上記ファイル (PGファイル、CTファイル、LWファイル、JOBファイル、MSKファイル、LW2ファイル) を格納したディスクユニット59を複製ステーション57に接続するように指示する。そして、ディスクユニット59から最初にPGファイルを読み出し、LWファイルとLW2ファイルとの合成を行なって陰影のLWファイル (これを陰影ベースページLWファイルと略す) を作成する。次にディスクユニット59からJOBファイルを読み出し、その中の記述に従って、CTファイル及びMSKファイルから陰影のCTファイル (これを陰影ベースページCTファイルと呼ぶ) を作成する。これら陰影ベースページLWファイル及び陰影ベースページCTファイルは共にディスクユニット59に

【図6】



【図4】



【図7】

